



公明党 長谷部 竜作 議員

令和2年度予算案について

問 どのような基本方針をもって、予算編成に当たったか伺います。

答 市長 財政健全化と政策推進のバランスをとった、総合計画成果志向型予算編成を実施しました。

問 重点施策について伺います。

答 市長 近年は自然災害が頻発し、被害も激甚化する傾向があるため、災害に強いまちづくりを、着実に進めていきます。

幼児教育について

問 休日保育の実施について伺います。

答 保健福祉部長 私立保育園1園で休日保育を実施しており、前年度実績では、1日当たり、0から16人、

平均5人の利用者がいました。利用者も少なく、保育士の雇用が厳しいとの理由により、令和3年度以降の事業継続が難しいと聞いています。

現状、公立施設での実施予定はありませんが、実施自治体等の事例をよく調査・研究したいと考えています。

問 公立こども園での、生後57日目からの保育実施について伺います。

答 保健福祉部長 現在、生後10カ月から保育を実施していますが、生後57日の乳児としては、発達に大きな差があり、環境整備が必要となります。申し込み状況並びに保育士の経験も加味した上で、段階的な実施、具体的には6カ月からの保育実施を検討しています。

問 山武地域への、こども園整備について伺います。

答 保健福祉部長 こども園については、民間の活力を利用し、整備することを視野に入れ、検討することとしています。



環境保全について

問 令和元年9月10日に発生した、実門地域での火災の経緯と状況について伺います。

答 経済環境部長 山武都市広域

行政組合消防本部による実況見分等を踏まえた経緯として、野積みされたフレコンバッグの深層部分からの出火とされています。出火原因としては、フレコンバッグ内のリチウムイオン電池が破損・変形したことにより、燃焼を起し、周囲のプラスチック類等に引火した可能性が高いと聞いています。

問 燃焼したフレコンバッグの中心について、搬入業者は有価物であると主張していますが、市民の安全や住環境を守る為、有価物にも産業廃棄物のような、保管基準を作るべきと考えますが、どうですか。

答 経済環境部長 屋外保管の基準となる取り決めがあれば、再生資源物や有価物の保管場所での火災予防につながると思います。市としては、先進の自治体の規定等を調査・研究していきたいと考えています。

地方創生について

問 三世代同居等支援事業について伺います。

答 総務部長 中古住宅を含む、住宅の購入、新築、建て替え、増築、リフォームにかかった費用の2分の1を、75万円を上限に補助します。また、市内産木材利用促進事業補助金と合わせると、最大100万円の補助金額となります。



令和2年度から人口減少対策として三世代同居支援事業を開始

また今後、住宅金融支援機構と連携協定を締結することにより、フラット35の当初5年間の借入金利率が、年0.25%引き下げられる優遇措置を受けることが可能となります。この協定の締結については、準備を進めています。

問 このような、よい事業があっても、知っていただくことが出来なければ、意味がありません。情報発信(宣伝)の重要性については、どのように考えているか伺います。

答 総務部長 非常に重要だと認識しています。重点分野として、全庁的、また積極的に情報発信に取り組むべきと考えています。